

2024 年度 事業報告

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

◆ 概況

2024 年度においては、新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響は見られず、博物館の来館者数や講習会等の各種イベントについても、概ねコロナ禍以前の状況に回復いたしました。これを踏まえ、来館者の安全と安心を確保するための感染症対策および安全対策を講じつつ、積極的に事業運営を推進いたしました。

また、次年度から実施予定の博物館の開館日および開館時間の変更に先立ち、円滑な移行を図るため、事業実施体制や運営方法に関する各種検討を実施いたしました。

◆ 賛助会員数 (2025 年 3 月 31 日現在)

法人会員 193 団体、333 口 (前期比 4 団体減、5 口減)

個人会員 プレミアム会員 0 名 合計 0 名 (前期比 1 名減)

◆ 来館者数 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)

8,626 名 [大人 5,431 名 子供 3,195 名]

(前期比 2,546 名減 [大人 1,513 名減 子供 1,033 名減])

※ 累計来館者数 (2007 年 10 月～2025 年 3 月)

168,098 名 [大人 123,831 名 子供 44,267 名]

1. 公益目的事業

(1) 木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

1F 企業展示コーナー YKK AP(株)様、ジャパン建材(株)様 J-GREEN

3F アロマオイル設置、持ち上げてみよう 柵設置、光合成 スギの葉展示キャプション
及び扉設置、アートフェス作品展示、エントランス香り BOX (カンナくず) 設置

4F 木育コーナー・木工案内撤去、いつでも工作体験看板リニューアル、レイアウト変更
共通 館内アンケート 手書きから QR コード読み込みに変更

(2) 木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事業 ア 季刊誌等での情報発信

① 定期情報誌「PLY」

第 28 号：巻頭インタビュー ライフデザイン・カバヤ株式会社 藤本和典氏

木アラカルト 武蔵野大学特別研究員 西本直子氏

第 29 号：巻頭インタビュー 株式会社五感 前田英樹氏

木アラカルト 武蔵野大学特別研究員 西本直子氏

第 30 号：巻頭インタビュー 株式会社モリアゲ代表 長野麻子氏

木アラカルト 武蔵野大学特別研究員 西本直子氏

第 31 号：巻頭インタビュー 一般社団法人日本木造建築海外推進協会会長 青木謙治氏

木アラカルト 元日本木材輸入協会会長 谷山順一氏

② 博物館の広報・PR 活動等

・テレビ、ラジオ、Web 等

Web サイト (Koubo・登竜門・公募ナビ・コンペナビ・CAPA CAMERA WEB・フォトカルチャー倶楽部・フォトコン・Picru・小学校理科教科書「科学館・博物館に行ってみよう」・じゃらんニュース・江東区観光協会)、東京情報観光センター (都庁・バスタ新宿・羽田空港・京成上野駅・多摩)、冊子「some one」、日刊木材新聞 (ウッドマスター講習会他)、江東区観光周遊マップ、eTREE、PR-FREE、ふれりり

・展示会への出展および出前工作

JK フェア、木と暮らしのふれあい展、深川ウッドフェス

イ 第 16 回「木と合板」写真コンテスト

開催趣旨：木は製材や合板などに加工し住宅や家具・おもちゃなどに使われています。木材利用推進は日本の林業活性化だけでなく、地球温暖化防止にもつながります。また、木の温もりは五感を使って私たちの心も癒してくれます。無駄なく使えるエコな資源であり、私たちの生活を支えてくれる欠かせない材料です。そこで、身近にある「木」や「合板」などと人との関わりに改めて目を向けてもらうために「木と合板」写真コンテストを開催いたします。

応募期間：2024 年 7 月 1 日 (月) ～8 月 31 日 (土)

結果発表：2024 年 10 月 31 日 (木)

審 査：審査委員会において対象者を審査後、理事会にて承認

特別審査員・・・プロカメラマン 吉田繁氏

応募作品数：562 作品 (前期比 55 作品増)

協賛企業・団体： 43 団体 66 口 (前期比 4 団体増、17 口増)

- ・林野庁長官賞 (大賞)：1 作品で木の賞状と商品券 (5 万円)
- ・優秀賞：1 作品で木の賞状と商品券 (2 万円)
- ・建材賞：1 作品で木の賞状と商品券 (1 万円)
- ・木質素材賞：1 作品で木の賞状と商品券 (1 万円)
- ・ネイチャー賞：1 作品で木の賞状と商品券 (1 万円)
- ・ライフ賞：1 作品で木の賞状と商品券 (1 万円)
- ・理事長特別賞：1 作品で木の賞状と商品券 (5 千円)
- ・特別審査員賞：1 作品で木の賞状と商品券 (5 千円)
- ・佳作：5 作品で木の賞状と商品券 (2 千円)
- ・学生奨励賞：3 作品で木の賞状と図書カード (5 千円)

ウ 「合板の日」記念式典（日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合との共同事業）

日 時： 2024 年 11 月 8 日（金）

場 所： 新木場タワー 1F 大ホール

内 容： 我が国の合板産業の発展に貢献の者の表彰

林野庁長官表彰状及び「合板の日」実行委員会感謝状の受賞者：

株式会社日刊木材新聞社会長 岡田直次氏

参加人数： 約 250 名

ご来賓： 林野庁林政部長 清水浩太郎氏、東京都産業労働局農林水産部長 榎園弘氏 他

講演会： 「新たな機能評価による木材の付加価値化ー地球環境と人のウェルビーイングの観点からー」 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 恒次祐子氏

エ 主な団体見学の受け入れ

（教育機関）

江東区内小学校 16 校(全校 45 校の内)、江東区教育委員会、さいたま市立南浦和小学校、都立久我山青光学園、東村山市立第二中学校、岐阜県東白川村立東白川中学校、都立板橋高等学校、都立工芸高等学校、千葉県立市川工業高等学校、神奈川県橘学苑高等学校、新潟県立高田高等学校、十文字高等学校、東京大学、北海道大学、慶応義塾大学、日本大学、東京電機大学、静岡県立農林環境専門職大学、タイ カセサート大学、フリースクール ジャパン フリネ、NAS KIDS UNIVERSITY BUNKYO、東京テクニカルカレッジ、大田区うのき教育学院、放課後等デイサービス 他

（その他団体等）

林野庁、タイ王室林野局、コートジボワール大使館、都道府県・指定都市 東京事務所、JICA、（国研）建築研究所、（公財）オイスカ、（一財）経済調査会、（一社）日本木材輸出振興協会、（福）市川レンコンの会、都立城南職業能力開発センター、東京水上危険物安全会、荒川流域協議会（さいたま市議、秩父市議）、長野県 森泉山財産組合、三重県森林組合連合会、宮崎県木材協同組合連合会、東京土建一般労働組合 中野支部、神奈川県工芸産業振興協会、いすみ市商工会、木材利用システム研究会、豊洲文化センター「豊洲あれこれゼミナール」、かながわ森林インストラクターの会、ボーイスカウト久留米第 2 団、楽彫（らくちょう）クラブ、アトリエとろり、その他 各地ウォーキンググループ、子ども会、デイサービス、国内外木材・合板関連企業等

オ ワークショップ

① 夏休み木工教室の開催（参加者合計：子供 44 名、保護者 49 名）

各日午後開催、定員 10 名、参加費 2,000 円

7/20（土）コリントゲームをつくろう！（参加者：子供 11 名、保護者 13 名）

7/27（土）ジグソーパズルをつくろう！（参加者：子供 10 名、保護者 8 名）

8/ 3（土）ジグソーパズルをつくろう！（参加者：子供 12 名、保護者 14 名）

8/10（土）コリントゲームをつくろう！（参加者：子供 11 名、保護者 14 名）

② ワンコイン工作教室の開催（参加者合計：子供 56 名、保護者 56 名）

各日午後開催、定員 10 名、参加費 800 円

10/26（土）シロフォンを作ろう（参加者：子供 7 名、保護者 8 名）

11/16（土）クリスマスリースを作ろう（参加者：子供 10 名、保護者 7 名）

12/7（土）木のコロコロカレンダーを作ろう（参加者：子供 12 名、保護者 14 名）

1/25（土）おみくじを作ろう（参加者：子供 12 名、保護者 12 名）

2/15（土）ミニイスを作ろう（参加者：子供 15 名、保護者 15 名）

（3）奨学・育英及び研究助成事業（給付型）

① 奨学・育英事業

目 的：向学心がありながら家庭の経済的な理由により、修学が困難な学生に
対し奨学援助を行い、社会に有用な人材を育成することを目的とする。

対 象：江東区、江戸川区、墨田区、葛飾区、足立区、北区、荒川区、台東区および
中央区内の高等学校に在学する者

選 定：選考委員会において選考を行い、理事会にて承認

選考結果および金額：16 名（応募者 22 名） 360,000 円／人 合計 5,760,000 円

都立大江戸高等学校	2 名	芝浦工業大学附属高等学校	2 名
都立本所高等学校	2 名	都立上野高等学校	1 名
都立城東高等学校	1 名	都立葛飾商業高等学校	1 名
中央学院大学中央高等学校	1 名	名桜丘高等学校	1 名
都立王子総合高等学校	2 名	都立岩倉高等学校	2 名
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校	1 名		

② 研究助成事業（給付型）

目 的：木材関連分野に関する研究を行っている将来有望な若手研究者（大学院生）の
育成のために、研究経費等の財政支援を行うことを目的とする。

対 象：35 歳以下の大学院に在籍する学生に限る。また、申請者は木材関連の学協会の
学生会員または正会員であることが望ましい。

選 考：選考委員会において選考を行い、理事会にて承認

選考結果および金額：4 名（応募者 10 名） 600,000 円／人 合計 2,400,000 円

	所属	研究課題名
A 氏	東京大学 博士 1 年	部材の曲げ変形を伴うめり込み特性に関する研究
B 氏	名古屋大学 修士 2 年	次世代木材評価システムの開発：高精度と高速性を両立する新しいアプローチ
C 氏	千葉大学 修士 1 年	RC スラブとの合成効果が構造用集成材梁の耐火性能に及ぼす影響
D 氏	静岡大学 修士 2 年	小標本理論による木質釘接合部のせん断剛性の決定方法の考案

2. 収益事業

(1) ウッドマスター講習会

・基礎講座（オンライン）

【講習内容】①温暖化防止と森林・林業・木材、②林業の基礎知識、③森林認証制度と合法木材、④木材の基礎知識、⑤合板などに使う樹種解説、⑥針葉樹と広葉樹の識別、⑦腐朽菌・害虫による木材の劣化と耐久性、⑧木材流通の仕組み、⑨木材需給と貿易、⑩木質建材の基礎知識、⑪木材乾燥の基礎知識、⑫接着剤の基礎知識、⑬これからの木造建築

【受講料】一般 33,000 円／人、賛助会員 31,000 円／人

	第 1 回	第 2 回
開催日	4 月 11 日（木）・12 日（金）	9 月 18 日（水）・19 日（木）
受講人数	80 名	31 名

(2) ショップ販売

・木製品等の販売 他

収入：656,490 円（前期比 126,525 円増）

以上